

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月1日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 JQ

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長経理管掌

(氏名) 田中 和雄

TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成22年2月1日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,433	10.2	191	—	185	—	182	313.6
21年3月期第3四半期	2,207	—	7	—	3	—	44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	16.67	—
21年3月期第3四半期	4.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,358	1,918	57.1	175.35
21年3月期	3,377	1,764	52.2	161.27

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,918百万円 21年3月期 1,764百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	6.8	210	369.4	180	410.0	180	147.9	16.45

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

〔(注)詳細は、6ページ・定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、6ページ・定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 11,368,541株 21年3月期 11,368,541株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 427,816株 21年3月期 427,816株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 10,940,725株 21年3月期第3四半期 10,940,725株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ・定性的情報・財務諸表等 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気低迷の影響を背景に、企業収益の減少や雇用情勢の悪化から個人消費の低迷を招き、依然として非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社はリユース事業をさらに進化させ、積極的な買取、全数生産（商品化）及び売場への全数出し切りを継続して展示アイテム数を増加させ、さらに計画的な売価変更による商品鮮度向上をすすめ、豊富な品揃えと魅力ある価格設定でお客様の購買意欲を高め売上高の拡大を図ってまいりました。

また、買取査定、生産（商品化）、出し切り、売価変更の各作業の簡素化を実現し、マニュアルの整備とその標準化をすすめ、粗利額・率の向上ならびに経費削減に努めてまいりました。

なお、新店及び移転・改装店については、開店から1年間としております。

(1) 売上高

(既存店)

既存店売上高は、営業政策を徹底推進させ、前年同期間比60百万円（3.0%）増収の20億44百万円となりました。

(新店)

当事業年度中に新たに開設した店舗（ブックオフ横須賀中央店）1店及び前事業年度中に新たに開設した店舗（ブックオフ鎌倉手広店、オフハウス逗子店、ハードオフ・オフハウス横須賀佐原店及びブックオフ横浜本郷台店）5店の売上高は前年同期間比1億80百万円（429.4%）増収の2億22百万円となりました。

(移転・改装店)

前事業年度中に移転した店舗（ハードオフ・オフハウス鎌倉手広店）及び改装した店舗（オフハウス北久里浜店及びハードオフ・オフハウス横浜本郷台店）の売上高は前年同期間比14百万円（8.1%）減収の1億67百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期間比2億25百万円（10.2%）増収の24億33百万円となりました。

事業部門別の売上高は以下のとおりです。

(オフハウス事業)

婦人服・メンズ衣料品、貴金属、バッグが順調に売上を伸ばし、売上高は前年同期間比1億4百万円（9.8%）増収の11億78百万円となりました。

(ハードオフ事業)

コンピューター・ビジュアル商品の積極的な買取強化により健闘いたしましたが、売上高は前年同期間比41百万円（5.9%）減収の6億54百万円となりました。

(ブックオフ事業)

書籍（コミック・文庫本）やゲームソフト・DVDソフトが順調に推移し、また新店の健闘が大きく、売上高は前年同期間比1億61百万円（36.9%）増収の6億円00百万円となりました。

(2) 営業利益

(既存店)

既存店営業利益は、売上高が増加したこと及び売上総利益率が前年同期間比3.0ポイント改善したことにより、前年同期間比1億6百万円（123.3%）増益の1億92百万円となりました。

(新店)

当事業年度中及び前事業年度中に新たに開設した店舗の営業利益は、前年同期間は61百万円の営業損失でしたが、当四半期累計期間は業績が順調に伸びた結果、19百万円の営業損失となり大幅な改善となりました。

(移転・改装店)

前事業年度中に移転・改装した店舗の営業利益は、売上総利益率が前年同期間比10.3ポイント改善したこと及び経費を削減したことにより、前年同期間比36百万円（前年同期間は営業損失17百万円）増益の18百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期間比 1 億84百万円 (2597.9%) 増益の 1 億91百万円となりました。

(3) 経常利益

営業外収益が19百万円、営業外費用が26百万円となり、経常利益は前年同期間比 1 億81百万円 (4801.6%) 増益の 1 億85百万円となりました。

(4) 四半期純利益

純利益は前年同期間 1 億38百万円 (313.6%) 増益の 1 億82百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて19百万円減少し、12億45百万円となりました。これは主に現金及び預金が46百万円増加し、商品が73百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、21億12百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ18百万円減少し、33億58百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて60百万円減少し、5 億82百万円となりました。これは主に、短期借入金が80百万円、1年内返済長期借入金が66百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1 億12百万円減少し、8 億57百万円となりました。これは主に、長期借入金が91百万円、長期預り金が17百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ1 億72百万円減少し、14億39百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ1 億54百万円増加し、19億18百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1 億60百万円増加し、その他有価証券評価差額金が6百万円減少したことによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年10月29日発表の「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期累計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

四半期ごとの資産増減実績を加味した年間償却予定額の月割累計相当額から、以前の四半期決算に計上した償却累計額を控除した額を、当該四半期決算の償却額とする方法によっております。

3. 法人税等の計上基準

法人税等の計上基準は、年間業績予測に基づく簡便法により計算しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	521,846	474,962
売掛金	24,542	15,411
商品	551,722	624,825
その他	147,813	150,267
流動資産合計	1,245,924	1,265,466
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	420,708	402,917
土地	583,125	583,125
その他	94,054	92,281
有形固定資産合計	1,097,888	1,078,325
無形固定資産	5,896	4,996
投資その他の資産		
長期預け金	763,129	808,805
その他	245,461	219,576
投資その他の資産合計	1,008,590	1,028,382
固定資産合計	2,112,375	2,111,703
資産合計	3,358,299	3,377,169
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,811	4,309
短期借入金	314,012	460,056
未払法人税等	9,767	13,997
賞与引当金	6,000	9,000
その他	243,039	155,965
流動負債合計	582,630	643,328
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	500,271	591,402
退職給付引当金	504	2,105
その他	156,432	175,974
固定負債合計	857,207	969,481
負債合計	1,439,837	1,612,809

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	511,031	350,571
自己株式	△56,983	△56,983
株主資本合計	2,635,781	2,475,321
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△35,931	△29,573
土地再評価差額金	△681,387	△681,387
評価・換算差額等合計	△717,319	△710,961
純資産合計	1,918,462	1,764,360
負債純資産合計	3,358,299	3,377,169

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,207,902	2,433,552
売上原価	875,630	885,229
売上総利益	1,332,271	1,548,322
販売費及び一般管理費	1,325,164	1,356,573
営業利益	7,107	191,749
営業外収益		
受取利息	7,190	6,450
受取配当金	3,760	3,728
雑収入	19,878	9,369
営業外収益合計	30,829	19,548
営業外費用		
支払利息	19,854	15,925
社債利息	—	2,950
雑損失	6,760	6,829
支払手数料	7,229	—
その他	315	393
営業外費用合計	34,158	26,099
経常利益	3,778	185,199
特別利益		
投資有価証券売却益	50,891	—
特別利益合計	50,891	—
特別損失		
固定資産除却損	—	151
投資有価証券評価損	1,879	—
特別損失合計	1,879	151
税引前四半期純利益	52,790	185,047
法人税等	8,703	5,850
法人税等還付税額	—	△3,143
四半期純利益	44,086	182,341

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	801,907	814,719
売上原価	325,591	285,138
売上総利益	476,316	529,581
販売費及び一般管理費	471,645	458,086
営業利益又は営業損失(△)	4,671	71,494
営業外収益		
受取利息	2,320	2,052
受取配当金	367	240
雑収入	987	2,623
営業外収益合計	3,675	4,916
営業外費用		
支払利息	6,023	5,045
社債利息	—	997
雑損失	1,933	1,099
支払手数料	2,259	—
その他	199	127
営業外費用合計	10,416	7,269
経常利益又は経常損失(△)	△2,069	69,141
特別利益		
投資有価証券売却益	2,925	—
特別利益合計	2,925	—
特別損失		
投資有価証券評価損	△87	—
特別損失合計	△87	—
税引前四半期純利益	942	69,141
法人税等	2,900	1,950
法人税等還付税額	—	—
四半期純利益	△1,957	67,191

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	52,790	185,047
減価償却費	51,030	55,451
長期前払費用償却額	11,259	9,411
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,000	△3,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,594	△1,601
受取利息及び受取配当金	△10,950	△10,178
支払利息	19,854	18,875
支払手数料	7,229	—
有形固定資産除却損	—	151
投資有価証券売却損益(△は益)	△50,891	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,879	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,540	△9,130
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,736	73,102
仕入債務の増減額(△は減少)	3,860	5,501
未払費用の増減額(△は減少)	24,499	13,998
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,548	21,762
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,422	39,145
その他の負債の増減額(△は減少)	△16,785	△482
小計	△44,879	398,055
利息及び配当金の受取額	4,148	3,891
利息の支払額	△20,676	△18,269
手数料の支払額	△5,916	—
法人税等の支払額	△9,957	△13,195
法人税等の還付額	—	3,143
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,282	373,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	94,163	—
投資有価証券の取得による支出	△68,379	△44,077
有形固定資産の取得による支出	△172,027	△10,870
無形固定資産の取得による支出	—	△1,162
長期預り金の受入による収入	42,000	—
長期預り金の返還による支出	△106,417	△25,250
敷金及び保証金の回収による収入	52,233	25,300
敷金及び保証金の差入による支出	△3,000	△10,000
その他の支出	△5,000	△2,000
その他	431	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,996	△67,685

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△80,000
長期借入れによる収入	350,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△243,550	△257,175
社債の発行による収入	200,000	—
配当金の支払額	—	△21,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	306,450	△259,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	63,171	46,883
現金及び現金同等物の期首残高	371,761	464,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,932	511,846

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における商品仕入実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	金額(千円)
ハードオフ事業	235,257
オフハウス事業	342,270
ブックオフ事業	234,599
合計	812,127

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2. 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	金額(千円)
ハードオフ事業	654,521
オフハウス事業	1,178,257
ブックオフ事業	600,774
合計	2,433,552

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。